研究業績調書記載および提出について

Ⅰ学術論文リスト、Ⅱ本会学術集会発表リストについて、研究業績調書を下記要領に

従い作成して下さい。そして、審査のため、対象となる研究に関する代表的な論文5編以内のコピー各11部を、申請書類とセットしてご提出下さい。セットは募集要項4．応募申請に従ってください。なお、添付された論文は返却いたしません。

◆ 提出いただく論文リスト等

Ⅰ 学術論文リストおよびH-index

学会誌「日本臨床検査医学会誌、臨床病理」を含め、これまでに国内外の学術誌に発表した論文リスト。

Ⅱ 本会学術集会発表リスト

Ⅲ　本会での委員会活動、支部活動状況

◆ 研究業績調書作成要領

Ⅰ学術論文リスト

リストの最初に、下記　　中のとおり、論文数、IF、H-indexのまとめをご記載下さい。

|  |
| --- |
| ・欧文論文数(総数：　　　)(筆頭数：　　　)・邦文論分数(総数：　　　)(筆頭数：　　　)・IF総数（　　　　　　　）・筆頭著者論文のIF総数（　　　　　）・H-index（　　　　　　　） |

そして、論文毎に、番号、著者名、論文題名、発表雑誌名、巻、号、頁～頁、発行年、

Impact Factor（2022年）の順に記載して下さい。

※ 論文リスト記載での注意事項

1．A4用紙にまとめて下さい。

2．原著，症例報告及び総説に区分し、それぞれ英文・邦文ごとに、年代の新しい順から記載すること。なお、シンポジウム　Proceeding等でほぼ全文が印刷される場合はこれに含むが，学会発表の抄録はこれに含まない。

3．著者名は論文と同じ順に省略せず、全員を記入し申請者のところにアンダーラインを付して下さい。また、論文の始めと終わりの頁数を記入すること。

4．論文の最新のImpact Factor（2022年）を、それぞれの論文の末尾に(　)でくくって記入すること。また,Corresponding AuthorまたはLast Authorである論文は、番号の前に※を付すこと。

Ⅱ 本会学術集会発表リスト

A4用紙に、本会学術集会での、特別講演、シンポジウム、演題発表の順に主なものを、それぞれ英文・邦文に分け、年代の新しい順に、番号、発表年、第○回学術集会、発表者名、演題名を記載して下さい。また、臨床検査医学に関連した発表に丸を付けて下さい。